

Livio補聴器専用



Thrive ヒアリング・コントロールアプリ 簡易ガイド

iPhone / Android 共通

※ Android 端末や器種によって表示が若干異なる場合があります。



ダウンロードはこちらから [無料]

App Storeで「Starkey」と検索し、「Thrive Hearing Control」をダウンロードできます。



※ iPhone 5S (iOS12 搭載) 以上に対応。



Thriveアプリは、2つのモード「アドバンスモード(標準)」または「ベーシックモード」をお選びいただけます。
設定メニュー > アプリの設定 > アドバンスモード から変更できます。(ベーシックモードは操作項目を限定します。)

🏠 ホーム

補聴器の音量調節、消音の操作が簡単にできます。メモリー名をタップして、メモリー名の編集やジオタグの割り当てができます。

☰ メモリーメニュー

アドバンス

ベーシック

補聴器のメモリー：補聴器販売店でパソコン調整で補聴器に設定されたメモリーが表示されます。

カスタムメモリー：ユーザーご自身が好みに合わせて作成したメモリーです。新規にメモリー作成する場合、現在の聞き取り環境で一番良い音質を与えてくれるメモリーを選択して、カスタマイズするメモリーの基礎にできます。

新規メモリーを カスタマイズする手順：

※ 基となるメモリーを
選択した状態にします。

- 1 メモリーメニューをタップします
- 2 + 新規メモリーをタップします
- 3 メモリー名を入力します
- 4 位置情報の設定をタップします
- 5 ジオタグ(位置情報)の設定：

カスタムメモリーと現在地を関連付けます。地図の下方にある📍マークをタップすると、現在地がメモリーに位置付けされます。



仮メモリー：補聴器販売店で設定されたメモリーに少しでも調整を加えると自動的に「仮メモリー」として保存されます。✏️マークをタップするとメモリー名を編集することができ、継続して使用できるようにカスタムメモリー内に保存します。

スマートVC：基礎になるメモリーの音量位置が保存され、作成されたカスタムメモリーにも同じ音量が設定されます。

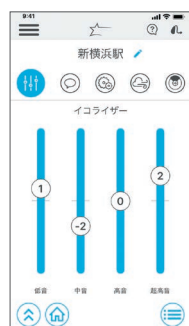
📶 ナビゲーションメニュー

🔊 きこえのカスタマイズ

アドバンス

ベーシック | イコライザー機能のみ

様々な環境下でのきこえに快適さと明瞭性のバランスを取るために、ユーザーご自身が微調整できる機能を搭載しました。アドバンスモードでは、さまざまな環境に合わせて、以下の6種類の項目からお好みの聞こえに調整できます。この機能を利用するには、ナビゲーションメニュー📶をタップして、きこえのカスタマイズを選択してください。



イコライザー
お好みの音質になるように、イコライザーで微調整します。



ボイス強調
騒々しい場所でも会話への理解が高まります。



機械音
機械的な大きな雑音がある場所で、聞き取りの快適性が増します。



風切り音
風の強い場所で、聞き取りの快適性が増します。



マイクの指向性
補聴器マイクロホンの音の拾い方を調整します。以下の名称の各アイコンをタップします。

前方
お好みの音質になるように、イコライザーで微調整します。

全方向
すべての方向からの音を増幅します。

自動切替
環境に応じて、自動的に**前方**と**全方向**を切り替えます。

自動適応
音声を自動的に追いかけて、雑音源は増幅しない指向性パターンに変化します。



サウンドスペース®
画面上で点滅している○アイコンを動かし、リアルタイムに聞こえてくる音の音質をお好みに合わせて変更できます。お好みの音質になったら画面上方の左角にある「完了」を選択して画面を閉じます。

アクセサリー アドバンス

Thriveアプリ内に補聴器とペアリングされたアクセサリーが表示され、アクセサリーからのストリーミングの開始や停止、音量調節の操作ができます。

- 1 ナビゲーションメニューから**アクセサリー**を選択します。
- 2 補聴器とペアリングされているアクセサリーが表示されます。

操作したいアクセサリーを選択したら：

- ストリーミングを開始/停止
- ストリーミング音量の調節
- 補聴器のマイク音量の調節
- アクセサリーボタン近くのマークをタップして、アクセサリー名を編集
- ペアリングしているアクセサリーを削除

* 操作ができない場合は、アクセサリーの電源や補聴器とのペアリング、通信状態をご確認ください。



設定メニュー

補聴器を捜す アドバンス ベーシック

補聴器を捜す機能は、Thriveアプリと補聴器が最後にワイヤレス接続していた場所を地図上に表示します。

- 1 設定メニューから**補聴器を捜す**を選択します。
- 2 最後にスマートフォンと補聴器が接続されていた場所がマップ上に表示されます。
- 3 アプリと補聴器が接続されている（または、接続されていた）と、画面下にスマートフォン端末と補聴器との距離を表すバーが表示され、バーは距離が近づくると伸び、遠くなると縮まります。



セルフチェック アドバンス

Thriveアプリを使用して、簡単便利に補聴器を構成している部品の性能を診断して、補聴器ユーザーご自身が診断結果を直ぐに確認することができます。

- 1 設定メニューから**セルフチェック**を選択します。
- 2 画面の指示に従って補聴器を置き、「診断開始」ボタンをタップして、セルフチェックを起動させます。
- 3 診断テストが完了すると、レシーバー、マイクロホン、内部機器の診断結果が画面に表示されます。
- 4 必要に応じて、各項目をタップすると、関連情報を確認することができます。



どこでも聴覚ケア アドバンス

Thriveアプリから補聴器調整を依頼するリクエストを送ることができ、リクエストを受け取った販売店のスタッフが遠隔で補聴器の微調整を行います。* この遠隔調整サポートシステムを利用するには、最初に補聴器販売店で補聴器の設定が必要になります。また、アプリ内でこの機能を設定する際に、クラウドサービスの登録や、販売店と通信を行うための販売店コード(6桁暗証コード)が必要になります。

クラウド接続サービス

補聴器にプログラミングされるデータがクラウド上にバックアップされ、いつでも読み込むことができます。スマートフォンやタブレット端末でThriveアプリを使用される場合、クラウド接続はリアルタイムに同期されます。

- 1 設定メニューから**どこでも聴覚ケア**を選択します。
- 2 クラウドサービスにサインインされているかどうかと最終同期日が表示されます。サインインした時にクラウド接続が確立されます。
- 3 接続先の販売店名または対応するスタッフ名が表示されます。接続先をクリックすると、営業時間など店舗情報を確認することができます。
- 4 調整を依頼するリクエストを送信します。
- 5 補聴器販売店や対応する専門スタッフがリクエストを受信すると、要望に応じた調整内容が提案されます。

* 一部の店舗ではご使用できない場合があります。詳しくは、補聴器販売店にお尋ねください。



ご注意：音声を補聴器に直接ストリーミングできるのは、Apple®のiOS端末のみです。専用アクセサリー（別売り）を使用することで、アンドロイド端末から補聴器への音声ストリーミングが可能になります。音楽、動画の音声、GPS機能の音声ガイドなども、リモートマイク+を介して補聴器に直接ストリーミングすることができます。リモートマイク+に関して、詳しくは補聴器販売店にお問い合わせください。

補聴器の設定

アドバンス

ベーシック

乗車時、通話やスマートフォンからの音声ストリーミングで、補聴器をどのように対応させるか選択できます。スマートフォンの通知サービス、データログやコンフォートブーストの機能をオン/オフすることもできます。

ご使用の補聴器について：

接続されている補聴器の製品名、製品番号、ファームウェアのバージョンが表示されます。補聴器の接続が切れる则表示は消えます。


通知サービス：

通知をオンにすると、スマートフォンの通知センターからカレンダー、Eメール、SNSの通知サービスが有効になり、補聴器から通知音が再生されます。青いボタンを押して、各通知音を試聴することができます。

乗り物メモリー：

自動で切り替わる乗り物専用メモリーのオンとオフができます。オンにすると、スマートフォンに搭載されているセンサーが起動し、走行速度が時速16kmを超えると乗り物メモリーに自動的に切り替わります。マークをタップすると、走行時に切り替わるメモリーをお好みのメモリーに選択できるようになります。

コンフォートブースト：

初期設定ではオフになっています。オンにすると、ホーム画面にコンフォートブーストのアイコン  が表示されます。アイコンをタップすると青色に変わり、コンフォートブーストが有効になります。コンフォートブーストは手動でオフにしない限り機能し続けます。騒々しい環境でのきこえに快適性が増します。

データログ：

データログのオンとオフを行います。データログをオフにすると補聴器に使用時間や消費電量などのデータが記憶されません。

自動ストリーミング (スマホ)：

自動ストリーミングのオンとオフができます。初期設定では自動ストリーミングがオンに設定され、Stream Boost (ストリームブースト) がメモリーに使用されます。自動ストリーミングがオフの場合は、ストリーミングが開始されてもメモリーは変更されません。


通話： マークをクリックして、電話が掛かってきたときに自動的に切り替わるメモリーをお好みで選択します。通話がストリーミングされている間に補聴器のマイクロホンを「変更なし」、「音量下げる(50%減衰)」、「消音」からタップして選択できます。

メディア音量： マークをクリックして、スマートフォンから音楽や音声ストリーミングされる際に自動的に切り替わるメモリーをお好みで選択します。ストリーミングされている間の補聴器のマイクロホンを「変更なし」、「音量下げる(50%減衰)」、「消音」からタップして選択できます。

Thriveアシスタント (Livio 2400のみ対応)

アドバンス

どこでも、どんな時でも、音声アシスタント機能を使用することで、ハンズフリーで操作ガイドに誘導してくれます。補聴器ユーザーご自身で、便利に補聴器やアクセサリーのトラブルシューティングを行うことができます。

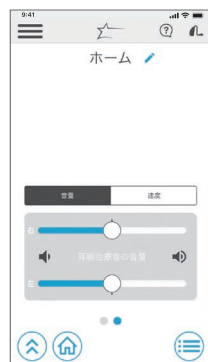
- 1 画面の右上にあるThriveアシスタントの  アイコンをタップして開始します。
- 2 「話しかけて。聞き取っています。」と画面に表示され、スマートフォンのマイクに話しかけます。
- 3 質問された内容に合わせて、Thriveアシスタントが操作ガイドの該当ページを探して表示します。

耳鳴治療音 (耳鼻科で診断された方のみ)

アドバンス

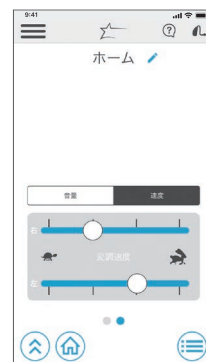
ベーシック

メモリー内に設定された耳鳴治療音の音量や変調速度を調整することができます。耳鳴治療音は、耳鼻科医師の診断が必須であり、診断内容に応じて有効に設定できます。有効に設定されると、Thriveアプリ上に耳鳴治療音に対応する画面が追加され、調整できるようになります。



音量の調節

耳鳴治療音の音量を調整するには、スライダーの○印を動かして、左右の補聴器の音量を別々に調整します。または、灰色の部分を中心に左右に指でスライドさせると、両耳同時に調整できます。ダブルタップすると、初期設定されている耳鳴治療音の音量に戻ります。



変調速度の調整

スライダーの○印を左右に動かして、変調速度を速める、または遅くすることができます。

CROS(クロス)補聴システム (CROS送信機と使用される方のみ)

アドバンス

ベーシック

BiCROS(バイクロス)で設定されているメモリー、またはそのメモリーを基に作成されたカスタムメモリーで、送信機と受信機側の補聴器に入る音のバランスを調整します。Thriveアプリ上のバランス画面は、補聴器販売店でバイクロスの設定された場合にのみ表示されます。

- 1 スライダーの○印を動かして、送信機と受信機(補聴器)から入る音のバランスを調整します。
- 2 送信機の消音をタップすると、送信機のマイクが音を拾わなくなります。

* Thriveアプリには受信機側補聴器のみ表示されますのでご注意ください。

